

# ジェブタナ (+ プレドニゾール) 療法を受けられる方へ

泌尿器科 ID: \_\_\_\_\_ 様

担当薬剤師

## 【投与スケジュール】

	1日目	2日目	3~21日目
ジェブタナ	○		
ジーラスタ皮下注		●	
(プレドニン錠(内服))	(連日内服)		

☆3週間ごとに繰り返し投与します。

☆検査の結果によりスケジュールや投与量が変わることがあります。

★プレドニン錠を併用することもあります。

## 【点滴内容】

生食	50mL
ポララミン	1A
デキサート	6.6mg
ガスター	1A

30分

生食	250mL
ジェブタナ	mg

60分

生食	50mL
----	------

全開

ポララミン：アレルギー症状を抑える薬です。

デキサート：吐き気やアレルギー症状を抑える薬です。

ガスター：アレルギー症状を抑える薬です。  
胃酸を抑える働きもあります。

ジェブタナ：がん細胞の増殖を抑える薬です。

ジーラスタ皮下注：抗がん剤投与 24 時間後に皮下投与  
白血球(好中球)の減少を抑える薬です。



## 【内服薬について】

★プレドニン錠を併用することもあります。

プレドニン錠：1日 \_\_\_\_ 回 \_\_\_\_ 食後 1回 \_\_\_\_ 錠 (毎日内服)

副腎皮質ホルモンです。

がん細胞の増殖を抑える作用もあります。



## 【主な副作用と対策】

**アナフィラキシー様症状**：お薬を投与することで、アレルギーに似た症状が発現することがあります。息がしにくい、胸が締め付けられる、といった症状がある場合にはすぐに知らせてください。

**血管外漏出**：針の刺入部の皮膚が赤くなる・腫れる・痛い・熱っぽい・かゆみが出るなどの症状が現れる場合があります。異常を感じたらすぐに知らせてください。

**白血球減少**：投与後 7～14 日頃に最も減少すると言われています。  
白血球が少なくなると、病原菌に対する体の抵抗力が弱くなり、  
風邪などの感染症を起こしやすくなりますので、  
うがい・手洗い・マスクといった感染予防を心がけましょう。  
長時間放置した飲みかけのペットボトルやコップの飲み物は飲まないようにしましょう。



**赤血球減少**：血液の赤い成分が減少することで、めまいやふらつき、疲れやすくなるといった副作用が起こることがあります。十分な休息をとりましょう。

**血小板減少**：投与後 7～21 日頃に最も減少すると言われています。原因不明のあざ・鼻血・歯茎からの出血・頭痛などが起こることがあります。出血しやすくなりますので、怪我や転倒には注意してください。

**食欲不振・悪心・嘔吐**：投与後～2～3 日ほど現れることがあります。あらかじめ吐き気止めを投与していますが、他の薬もありますのでつらい時には申し出てください。また、食事はにおいの少ないもの・冷たいもの・食べられるものを少しずつ、食べられる分だけ摂取するようにしましょう。

**便秘**：水分を摂取したり、お腹のマッサージをしましょう。下剤や便を軟らかくする薬も使います。

**下痢**：排便回数が増えたり、下痢になったりすることがあります。  
下痢をしている間は脱水にならないように水分摂取をしましょう。  
症状によっては下痢止めを使用することがあります。  
発熱を伴う場合には連絡してください。



**大腸炎**：腹痛や下痢が長く続いたり、血便やタール便が出るようでしたらお知らせください。

**疲労感・全身倦怠感**：全身がだるくなったり、力が抜けたような感じになることがあります。  
十分な休息をとりましょう。

**末梢神経障害**：手足がしびれたり、痛みがでることがあります。  
ボタンがかけにくい・字が書きにくいといった症状が出てくるようでしたら  
お知らせください。



**脱毛**：脱毛が起こることがあります(10%程度)。投与後 14~21 日経つと抜け始めます。  
治療終了後 6 ヶ月ほどで生えそろってきます。

**発疹**：皮膚が赤くなったり、かゆみが出ることがあります。  
ひどい場合には知らせてください。



**色素沈着・爪の変形**：皮膚や爪の色が着色したり、爪が変形してしまうことがあります。  
長い時間直射日光にあたらないようにしましょう。  
治療が終了すれば徐々に元に戻ります。

**口内炎**：食後に歯磨きをするなど、口の中は清潔に保っておきましょう。

**味覚障害**：食べ物の味が変わって感じる場合があります。  
治療が終了すれば徐々に治ります。



**腎・肝障害**：お薬によって腎臓や肝臓に影響が出る場合があります。

**心障害**：薬の影響で心臓に負担がかかる場合があります。

**不整脈**：薬の影響で不整脈が生じることがあります。  
急に心拍数が増えたり減ったり、脈が飛ぶな、胸が苦しいなどの  
症状が現れた場合には申し出てください。



**間質性肺炎**：非常に稀ですが、薬の影響で肺炎が起こることがあります。  
咳・発熱・息切れといった症状が続くようでしたらお知らせください。



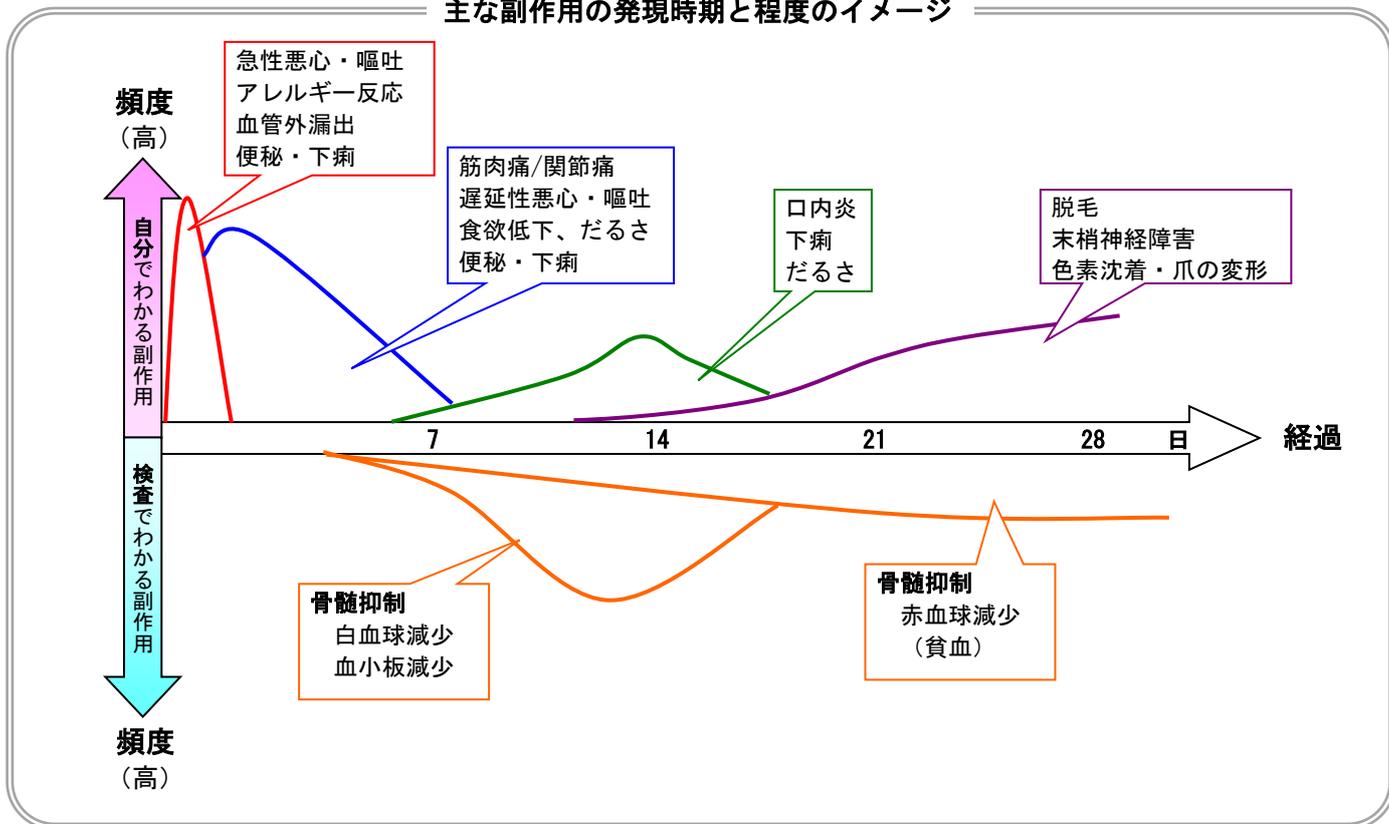
**プレドニンの副作用**：感染症・胃潰瘍・高血糖・高血圧・骨粗鬆症・不眠・うつ症状・緑内障・ムーンフェイス(顔がふっくらする)などが生じることがあります。必要に応じて薬を使います。(プレドニン錠を併用した場合)



**ジューラスタの副作用**：発熱(ジューラスタ投与後 3~7 日程度 37.5℃前後の熱がでることがあります)・骨痛・アレルギー症状・間質性肺炎・急性呼吸窮迫症候群・Sweet 症候群・大型血管炎などを生じることがあります。別途パンフレットをご覧ください。



主な副作用の発現時期と程度のイメージ



副作用の全てが現れるわけではありません。

また、これら以外の副作用が現れる場合もあります。

気になる症状がありましたら必ず医師・薬剤師・看護師にご相談ください。

この説明書はかかりつけ医やかかりつけ薬局薬剤師にもお見せください。



お薬に関する相談先

北信総合病院 (代表)0269-22-2151  
薬剤部 医薬品情報管理室 内線 2530

